



「デマンドタクシーやります」市長

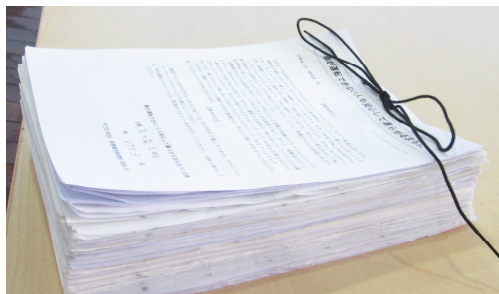
デジタル活用?回数制限? - 課題残る

市民団体が署名運動に取り組み、日本共産党議員団が繰り返し実現を求めて来たデマンドタクシー（乗り合いタクシー）が来年度中に運行開始すると答弁がありました。

民間のタクシーを活用し、出発地から目的地まで運んでくれる、使いやすい「ドア・トゥー・ドア方式」にするそうです。

利用対象者は、①市内に住民登録がある75歳以上、②運転免許のない65～74歳、③障害者手帳を持っている人です。

気になるのは、答弁中の「利用回数に上限」、「DX（ディ・エックス）の取り組みを検討」の言葉です。せっかくデマンドタクシーを始めるのに、市は使える回数に上限をもうけたいようです。枚数が少なく苦情のあるタクシー券の二の舞にならないか心配です。



党市議団も協力し市民団体が市長に提出した二千人を超える署名

また、前橋市の様にマイナンバーカードを使って本人認証するのを条件にすれば、カードを持たない人を排除したり、利用者のカード紛失にもつながりかねません。

細かなことが決まるのは8月末頃とのことです。声を寄せて使いやすい制度にさせていきましょう。

3年保育行わず放置、「入園者いない」と廃園

茂呂・南幼稚園



廃園となる市立南幼稚園

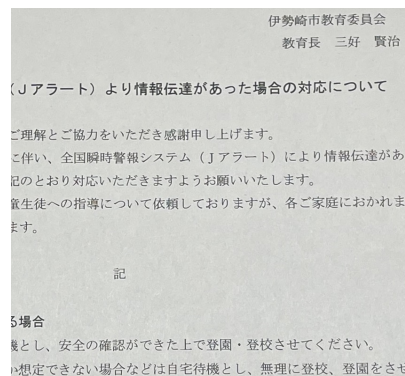
市は6月議会に、「入園希望者がいない」と休園してきた茂呂と南の2つの市立幼稚園を廃園にする条例案を上程しました。

日本共産党市議団は「保護者の希望を無視して2年保育のまま放置し、廃園ありきの無責任な運営」と市の幼児教育の進め方を厳しく指摘しました。

Jアラート届かぬ小学生に「逃げろ」?!

ミサイル落下の恐れのある時にJアラートの警報が発せられます。6月8日教育長名で、警報が出た場合の対応についての通知が保護者に配布されました。伊勢崎市は防災放送のない全国69市町村の一つで、スマホを持たない小学生は通学途中に警報が出てもわかりません。「情報を知らせるための対策はこれから検討」とのことです。

通知が配られたのは、国会で防衛費増額の財源確保法案審議が山場を迎えていた時です。「まるで法案を通す世論づくり」「危機感をあおるためでは？」という声が出ています。



配られた通知（部分）